

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

収益の「継続性」と「高成長性」を実現し、安定的な収益基盤構築を目指して企業価値の最大化を図る

世界AI市場規模
約130兆円

日本AI市場規模
4兆1,873億円

② 中長期の経営戦略

1. プロジェクト型の継続性強化

「継続性」を高めて安定性の高い収益を拡大。顧客の経営問題に中長期的にコミット

3. 自然言語処理への重点投資

意味理解を中心とした自然言語処理分野で絶対的リーダーを目指す戦略的取り組み

2. サービス型の本格立上げ

「高成長性」の収益を拡大。AEI関連売上、オーダーメイド型AI/DXソリューション売上の比率を増加

4. 重点産業への参入

製造業、メンテナンス業、メディア・広告業、コールセンター業に事業パートナーと提携してAEIで差別化

③ 対処すべき課題

① 人材確保と育成

- ・優秀な技術陣の採用・育成継続。インターン受け入れと抜擢で大学院生以上を確保
- ・技術面・ビジネス面に知見ある営業人材の採用と営業ノウハウの仕組化

② 投資と成長基盤

- ・事業開発と研究開発への積極投資。営業キャッシュフローを資金源とする
- ・健全な財務基盤構築。金融機関借入やエクイティファイナンスで拡大投資に対応

③ 信頼性とガバナンス強化

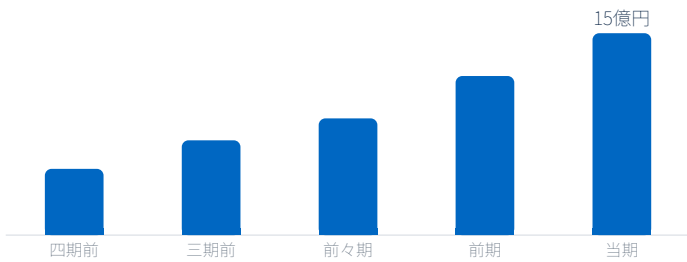
- ・セキュリティ体制強化。重要情報取扱いのため開発環境構築と研修拡充
- ・内部管理体制強化。コーポレート・ガバナンス、内部統制の強化と三様監査連携

面接で使えるポイント

- ・2030年に世界AI市場が約130兆円に拡大する中で、自然言語処理分野での絶対的リーダー目指す
- ・日本の労働者不足は2035年に384万人と推計され、仮想人材派遣による約109兆円のTAM機会
- ・優秀な技術陣の採用・育成と事業開発への継続投資で、プロジェクト型とサービス型の双軸成長を推進

証券コード 5132

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
94点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 53.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
679万円

情報・通信業内 246位/592社

平均年齢
31.13歳

情報・通信業内 577位/593社

平均勤続
3.0年

情報・通信業内 529位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: pluszero[5132]: プラスゼロ、ホリイフードサービ

